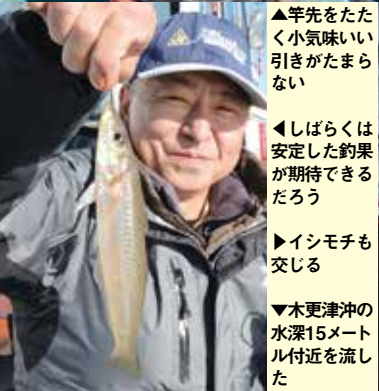




★潮が動いて食いが立つとダブルも



▲竿先をたたく小気味いい引きがたまらない
◀しばらくは安定した釣果が期待できるだろう
▶イシモチも交じる
▼木更津沖の水深15メートル付近を流した



▲▼20センチ級の刺身サイズが2〜3割ほど



▶冬のキスは脂が乗っていて食味もおいしい



▲片テン、胴つきはお好み次第。標準オモリは15号

東京湾奥羽田大師橋際出船 まだまだ浅場で釣れてます！ 東京湾のシロギスは冬も好調

撮影◎竹川啓二



▲慣れた人は仕掛けをキャストして数をのぼした

一年中楽しませてくれるシロギスだが、本来の最盛期は浅場で活発にエサを追う夏。水温の低下とともに深みへと移動し、活性の低い冬場はアタリも微弱で、型はよくても数は出ないのが特徴。しかしここ数年の状況を見ると、暖冬のせいか以前ほど水温が下がらないため東京湾では真冬でも最盛期並みの釣果が記録されることもある。
東京湾奥羽田大師橋際の「かめだや」が目下メインとしている釣り場は木更津沖15メートルダチ。14〜22センチと大小交じりでアタリは活発、トップで70〜90尾、慣れていない人でも20尾前後は楽に釣れる好模様が続いているから、ビギナーや子供連れで楽しむ師走の釣りレジャーにもってこいだ。
(詳細は56ページ参照)



◎東京湾奥羽田大師橋際・かめだや 鈴木 祥太船長